

世界自然遺産登録5周年
国立公園指定10周年記念

奄美・沖縄
子ども交流事業

子ども新聞

学び、深めた郷土愛

特別号



ピナイサーラの滝
ツアー



野生生物保護センターでの
環境学習



祖納集落 豊年祭へ参加



西表島小中学生との交流会



ナイトツアーで
夜の生き物観察



水牛車に乗り由布島へ

令和8年7月28日から31日までの4日間、奄美群島の中学生12名が西表島を訪れ、交流事業を実施しました。野生生物保護センターでの環境学習をはじめ、ピナイサーラの滝ツアーやナイトツアーなど、豊かな自然を体感するさまざまなエコツアーを体験。また、西表島の小中学生との交流会では、一緒に活動しながら交流を深めました。

奄美群島の中学生は、研修前に自分が住んでいる島と西表島の違いについて事前に学び、研修に臨みました。実際に西表島を訪れると、自然や文化の中に「違い」だけでなく、島同士の「共通点」もたくさん見つかりました。見て、聞いて、触れて、話して——。4日間の体験を通して、子どもたちは西表島の魅力を発見するとともに、自分たちが暮らす島の魅力も改めて見つめ直しました。

「西表の大自然の中で学んだこと」

天城町立天城中学校
3年 中磯 花奏

① 心に残ったこと

研修で一番印象に残ったことは、西表島の自然の豊かさです。特に29日に行ったピナイサーラの滝では、カヌーで川を渡ったり滝の下まで歩いたりしました。徳之島ではカヌーに乗れるような大きな川はないため、とても新鮮でした。

また、道中には多様な種類のマングローブが生育しており、徳之島では見られない景色に目を奪われていると、反対側のマングローブに突っ込んでしまったのもいい思い出です。

③ 自分の成長につながったこと

この研修に参加する前から、自然や生き物に興味があり、調べたり、学校の取組で島のことを発表したりしていました。しかし、初めて会った人と共同生活をしたり、意見交換をしたことはありませんでした。この事業に参加し、様々な考えを持つ人たちと交流できたことによって、島の環境についての考えがより深まりました。

② 学んだこと・気づいたこと

西表島の文化体験として祖納集落の豊年祭に参加させていただきました。私の住んでいる地域の豊年祭は、集まってみんなで歌ったり踊ったりするだけですが、祖納集落の豊年祭は、来年の豊作を祈って綱引きをしていました。東と西で勝負し三回戦で勝負を決めます。地域によって、多種多様な豊年祭があることを改めて感じました。

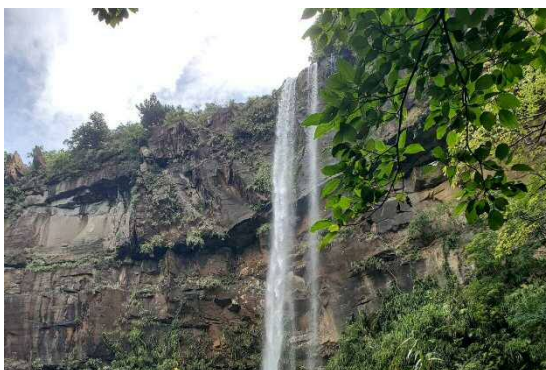
④ これから、自分にできること

昔から何かを行動に移すのが苦手で、中途半端で終わっていました。しかし、今回のこの事業に参加して、百聞は一見に如かずという言葉の通り、「調べる」ことより「見て体験する」ことで得られる物の多さを改めて学ぶことができました。これからはそういった取組に参加したいです。

また、清掃活動や集落の行事などにも積極的に参加し、自分にできることを一生懸命取り組みたいです。



ナイトツアーで初めて見ることができたヤエヤマセマルハコガメ。



カヌーやトレッキングをしつつ、ようやくたどり着いたピナイサーラの滝。



巨木を支えるために大きく張り出した、不思議な形をした根。